



18 時代の先を見据えよう
SDGs AMI

AMI TOWN

Urban planning master plan

阿見町
都市計画
マスタープラン
【一部改訂版】
令和6年5月

ごあいさつ

本町では、平成 28 年 3 月に現計画となる都市計画マスタープランを策定し、将来都市像である「人と自然が織りなす、輝くまち」を実現するため、令和 3 年 3 月に「阿見町立地適正化計画」を策定し、集約型都市を目指した拠点の形成とネットワーク化により計画的なまちづくりを進めてまいりました。

一方、本町を取り巻く社会情勢は、人口減少社会や少子高齢化が進行するとともに地球温暖化や気候変動などの環境問題や新型コロナウイルス感染症パンデミックによるライフスタイルの変化等、環境が大きく変化しています。さらには、持続可能な社会の実現を目指す「SDGs」の基本目標のもと、DX（デジタルトランスフォーメーション）やカーボンニュートラルに向けた取組の推進等、新しい時代への対応がまちづくりにも求められるようになりました。

本町においては、首都圏中央連絡自動車道の整備効果による企業立地をはじめ、インターチェンジ周辺における産業系土地利用の需要の増大や、荒川本郷地区、阿見吉原地区での市街地開発の進捗など、急激に都市化が進展しており、令和 5 年 10 月 30 日に初めて常住人口 5 万人を突破することができました。

今回の改訂では、本計画の上位計画である「阿見町第 7 次総合計画（令和 6 年 3 月策定）」との整合を図るとともに、市制施行に向け 5 万人都市にふさわしいまちづくりの方向性を示すため、本町を取り巻く状況を的確に捉え、次世代に向けて活力ある地域社会の実現や持続可能なまちづくりへの取組を行うため必要な箇所について見直しを行いました。

本計画での将来都市像を上位計画である第 7 次総合計画として掲げている 10 年後のまちの姿「地域力が強く誰もが幸せに暮らせるまち」とし、実現に向けて本計画に位置づけされている施策を推進していきたいと考えております。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提言をいただきました町民の皆様、都市計画マスタープラン策定委員会の皆様など、関係者各位に心からお礼申し上げます。

令和 6 年 5 月

阿見町長 千葉 繁



目次

第1編 総論

序 計画の目的と役割	2
1 関連する法制度及び上位・関連計画など	9
2 地勢・沿革など	14
3 都市整備の状況	15
4 町民意向の把握	28
5 都市整備の課題	30

第2編 全体構想編

1 都市の将来像	44
2 都市計画の基本方針	61
（1）土地利用に関する方針	61
（2）市街地開発事業などに関する方針	69
（3）集落地のまちづくり方針	71
（4）都市施設整備に関する方針	73
（5）防災まちづくりの方針	86
（6）景観形成の方針	89
（7）横断的なまちづくりの方針	91

第3編 地域別構想編

1 地域別構想の考え方	96
2 地域別まちづくりの方針	97
（1）中央地域の地域づくり構想	97
（2）西部地域の地域づくり構想	106
（3）東南部地域の地域づくり構想	116

第4編 重点プロジェクト編

1 重点プロジェクトの考え方	128
2 未来を創るまちづくりプロジェクト	129

第5編 実現化方策編

1 実現化方策の基本的考え方	134
2 協働のまちづくりに向けた取組	134
3 都市計画マスタープランの運用・見直し	136
4 都市計画マスタープランの進行管理	137

資料編

1 策定の経緯	140
2 阿見町都市計画マスタープラン策定委員会要綱	141
3 阿見町都市計画マスタープラン策定委員会委員名簿	143
4 阿見町都市計画マスタープラン策定幹事会委員名簿	144